

令和3年度の重点課題

○ 男子は、「握力」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 女子は、「握力」、「上体起こし」、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 運動やスポーツをすることが好きな児童が男子より女子の方が10%多い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○ 「握力（筋力）」、「長座体前屈（柔軟性）」を高めるため、体育の授業の導入部分で行う西小体力アップ修行（ゲーパ一運動、鉄棒ぶら下がり、ストレッチ）を行った。

○ 外部講師を招聘しての体力づくりの実施。専門的な指導を児童が受けることで、自らの体と向き合い、その動かし方に気付くとともに、運動の心地よさを味わうことで運動への興味をもたせ体力の向上に取り組んだ。とくに、ボールを使った運動や体ほぐしの運動を通して、児童自らが運動の楽しさを味わい、体を動かすことへの意欲を高めた。

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.74	17.56	36.21	43.67	37.97	9.87	145.03	22.11	49.86	第5学年	16.24	18.00	41.93	41.13	34.93	9.91	138.50	13.87	56.68

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.74	17.56	36.21	43.67	37.97	9.87	145.03	22.11	49.86	第5学年	16.24	18.00	41.93	41.13	34.93	9.91	138.50	13.87	56.68

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	76.32	15.79	2.63	5.26	第5学年	61.29	25.81	12.90	0.00

学校独自の意識調査

学校から帰った後や、休みの日に、友達と外で遊んだり、運動したりしている児童

	とても	まあまあ	あまり	ぜんぜん
1年生	48%	22%	13%	17%
2年生	53%	28%	13%	6%
3年生	54%	23%	23%	0%
4年生	49%	32%	14%	5%
5年生	39%	30%	19%	12%
6年生	33%	35%	21%	11%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体力づくり（西小体力アップ修行）
- ・年間を通して準備運動の中に、西小体力アップ修行を引き続き行う。課題となっている項目を中心とした内容をつけ加え、実行する。
- 体育カードの活用
- ・体育カードを継続して活用し、自分の記録や体力に課題意識と目標をもたせることで、達成感を味わわせるとともに、運動に対する意識を高める。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・児童会、体育委員を中心とした、「なわとび大会」を実施する。
- ・体育委員による休憩中の外遊びの声掛けを行う。
- ・家庭学習の中に体力アップの内容を加える。
- ・やわらかいボールなど外遊びができる道具を用意する。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が7.9%である。（前年比5.1%↑）
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が13%である。（前年比2%↑）
 - ・ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも5.1%多い。

体力面での課題

- 男子
 - ・「握力」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅とび」、「ボール投げ」において、県平均かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「握力」、「上体起こし」、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子は5%、女子は10%にする。
- 「握力」を県平均値以上にする。
- 「体を動かすことが楽しい」児童を男女共に90%を目指す。